

- ◇介護予防・生活支援員養成研修を開催…………… 2面
- ◇西宮国際交流デーを開催…………… 3面
- ◇保健だより…………… 4面
- ◇消防70周年記念切手を発売中…………… 8面
- ◇届け出挙式を実施…………… 8面
- ◇山口フォトコンテスト 写真を募集…………… 8面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798・35・3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>
 ●編集/政策局市長室広報課 ☎0798・35・3400 ✉vo_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



「宮水」を知っていますか？

宮水保全条例を制定しました

日本有数の酒どころとして知られる西宮、その酒造りを語るうえで「宮水(みやみず)」は欠かせない存在です。古くから西宮の酒を支えてきた宮水は、宮水保存調査会による努力の甲斐もあって、今もキレの良い辛口のお酒を生み出しています。西宮の天然資源であるこの水を後世に伝えていくため、市は昨年12月に「宮水保全条例」を制定しました。

問 都市ブランド発信課 (0798・35・3071)

自然が醸し出す奇跡の「酒造用水」

宮水は西宮神社の南東側一帯(久保町や石在町など)から湧き出しており、おおむね地下2㍓～5㍓の浅い地層を流れている地下水です。

3つの伏流水がブレンドされた水

宮水地帯には3つの伏流水が流れ、かつて海であった地域を流れる「法安寺伏流」「札場筋伏流」は、酒の発酵を助けるカリウム、リンなどを多く含みます。一方、夙川を起源とする「戎伏流」は酸素を多く含み、水中の鉄分を酸化鉄として沈殿させて除去します。これらの伏流水が合流することでミネラルが豊富で鉄分が少ない「宮水」となっています。

▲日本を代表する日本酒「灘の生一本」のキレには宮水が欠かせません

170余年にわたり銘酒を生み出してきた歴史

| | |
|-------------|---|
| 室町時代(15世紀頃) | まだ「宮水」は発見されていませんが、西宮の酒は室町時代には「西宮の旨酒」として知られていたそうです |
| 1840年 | 宮水の発見 酒造家・山邑太左衛門(やまむらたざえもん)が西宮の酒の秘密は仕込み水にあることを発見。当時は「西宮の水」と呼ばれていたものがやがて「宮水」になったといわれています。 宮水の発見により酒造業者が競って宮水を求めたことで、宮水を売る「水屋」という西宮独自の商売も生まれました。 |
| 1924年 | 宮水保存調査会 発足 ※当時は「宮水保護調査会」 |
| 1950年代～ | 高度経済成長期に入り開発が進む 調査会が保全活動に一層の力を入れていきます |
| 1985年 | 名水百選に選ばれる |
| 2017年 | 宮水保全条例を制定 |

「宮水」を運ぶ宮水運搬車(昭和30年代) ▶

◀阪神・淡路大震災時には、普段開放されていない宮水井戸も一般開放されました(写真は久保町)

開発と共存してきた「宮水」

結成から90年を超える歴史ある調査会

宮水保存調査会は、灘五郷酒造組合により設置され、井戸水を定期的に調査して宮水に関わる地下水の水位・水質の分析などを行っています。90余年にわたる調査会の活動により守られてきた宮水は、学術的に貴重なものとして日本の地下水研究にも役立っています。

都市開発と地下水保全の両立

調査分析の他、調査会では開発工事の際に宮水の流れを妨げない手法を提案しており、事業者もそれに応えるかたちで開発と保全の両立が図られてきました。都市化の進む西宮で今なお水量と水質を保つことができているのは、こうした取り組みの賜物(たまもの)です。

▲水質分析の様子

▲酒造用の宮水の出る井戸の状態は灘五郷酒造組合で管理しています

これからも宮水を守っていくために～宮水保全条例

条例は、開発事業者が宮水の保全対象区域内でマンション建設など一定規模以上の工事を進める際、灘五郷酒造組合との事前協議を「義務」とするもので、4月から運用されます。これまでも協議をお願いしていましたが、宮水のことを知らず、協議無しに開発を進めてしまうケースがあったため条例化を図りました。条例の趣旨は、宮水について周知し保全について理解を得ることであり、これまで以上に開発を厳しく制限するというものではありません。

▲条例の保全対象区域(斜線部)

灘五郷酒造組合 宮水保存調査会 済川 健 さん

宮水保存調査会では、「酒ぐらルネサンスと食フェア(毎年秋に実施する日本酒の祭典)」で「宮水コーナー」を設けて、地下水保全の取り組みを紹介しています。

これからも調査・保全活動を続けていくとともに、こういった広報活動も行って宮水という西宮の「宝」を守っていききたいと思います。

白鹿記念酒造博物館(酒ミュージアム) 弾正原 佐和 さん

当館は酒造りの歴史や文化を後世に正しく伝えるための博物館で、明治の酒蔵を震災から復興させています。中ではかつて使用していた宮水井戸などを見学できます。今後多くの人に西宮の酒文化を身近に感じてもらえるよう努めてまいります。ぜひお越しください。

酒ミュージアム 【住所】鞍掛町8-21 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時半まで) 【休館日】火曜日 【入館料】400円(小・中学生200円) 【電話番号】0798・33・0008

西宮 蔵開

2018

今年も新酒の季節が到来!

西宮日本酒振興連絡会は、市内の酒蔵を無料で開放する「西宮蔵開(くらびらき)」を開催します。新酒の有料試飲(一部無料)などが楽しめます。

問 西宮日本酒振興連絡会 (0798・35・3071… 都市ブランド発信課内)

| | |
|---------|---|
| 2/3(土) | 寶娘 「しぼりたて新酒」無料試飲&灘五郷唯一の木造蔵見学 午前11時～午後4時・大澤本家酒造 |
| 2/10(土) | 徳若 しぼりたて新酒堪能 午前11時～午後4時・万代大澤醸造 |
| 2/17(土) | 白鹿 蔵開き ソトノミフェス～つくる。新たな日本酒の世界～ 午前10時～午後3時・辰馬本家酒造本社敷地内 |
| 2/24(土) | 日本盛 新酒蔵開き 午前10時～午後3時・日本盛 酒蔵通り煉瓦館北側 日本盛工場敷地内 |
| 3/3(土) | 大関 蔵開き 午前10時～午後3時・大関寿製品庫 |
| 3/4(日) | 白鷹 「しぼりたて生原酒」を楽しむ一日 午前11時～午後3時・白鷹本蔵東側 |